

11/9(日)

11/8(土)



上田城トークショー2025 投影資料

※個人の利用の範囲にとどめてください。

多くの人がイメージする石垣



江戸城 外桜田門



姫路城 天守

上田市と周辺にある山城の石垣



山家城(松本市)



鷲尾城(千曲市)



松尾古城(上田市)



笹洞城(上田市)

土の城から石の城へ—石垣化の背景—

織田信長

総石垣による莊厳化と統治機構（求心構造）の見える化

永祿～天正年間
小牧山城→岐阜城→安土城



近江の**石垣技術者**を動員



大手道の左右に大名屋敷

1. 総石垣・高石垣
2. 天守・御殿
3. 瓦葺き（金箔瓦）

豊臣秀吉



天正後半～文禄・慶長初期
大坂城→(聚楽第)→伏見城

石積み技術者

- 秀吉は「穴太」の里、滋賀郡を直轄地に
- 天下統一・対外戦争の過程で秀吉配下の大名へ「穴太」が拡散



豊臣大坂城の石垣 1583年（天正11）～



伏見城（木幡山）の石垣 1597年（慶長2）～

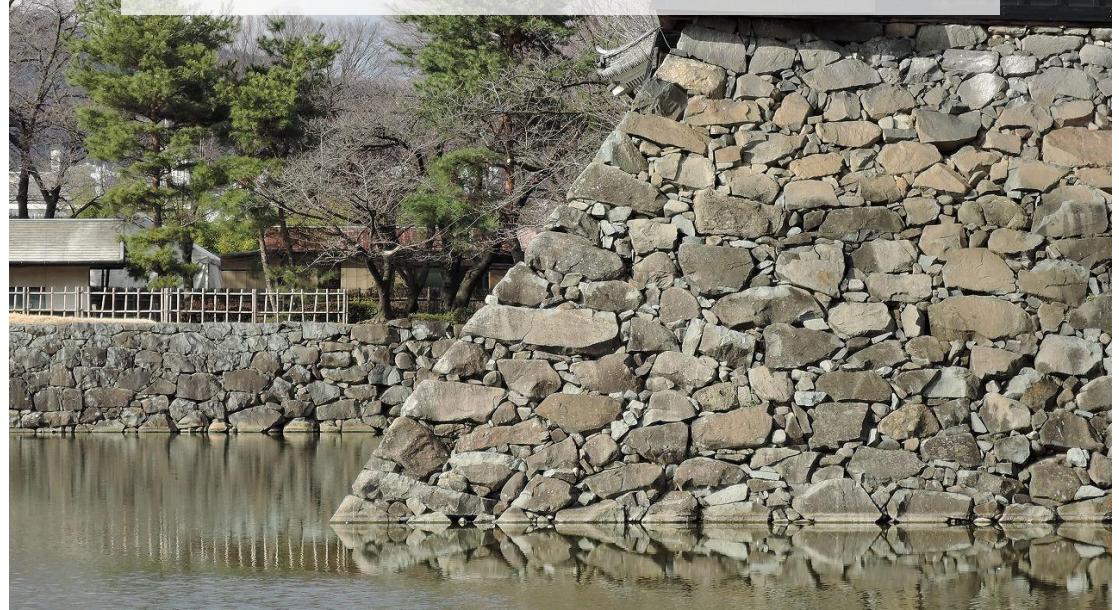


名護屋城陣屋マップ https://nagoyajyo-rekishi.com/pdf/panf_j2.pdf

小諸城天守台 仙石秀久



松本城天守台 石川数正



甲府城天守台 浅野長政・幸長



徳川家康・秀忠

関ヶ原（1600年）以後
江戸城、駿府城、名古屋城など

国替えにより全国で
築城ラッシュ

穴太が活躍



- 幕府では有力な4家が「公儀穴太（戸波駿河・戸波丹後・戸波三河・堀金出雲）」
- 諸大名（主に外様）は**公儀普請**に備え、穴太を召し抱える。



江戸城 慶長11年



駿府城 慶長12年



名古屋城 慶長15年

元和・寛永初期築城の譜代・準譜代の城

東国の幕府系城郭は土塁が中心、虎口に石垣

丹羽長重（準譜代？）・寛永2年 鳥居忠政（譜代）・元和8年

戸沢政盛（準譜代）・寛永2年

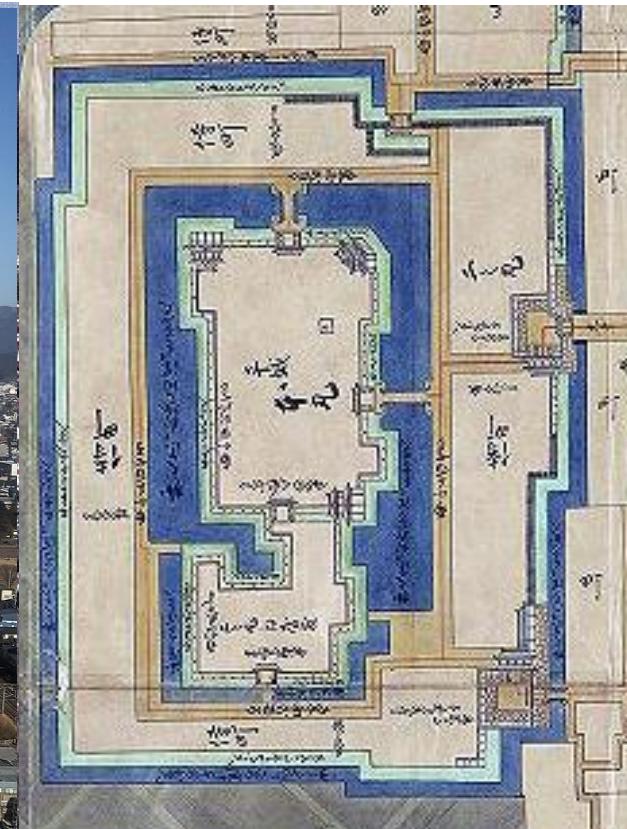
松平重忠（譜代）・元和8年



出羽・上山城



陸奥・棚倉城



出羽・山形城

酒井忠勝（譜代）・元和8年



出羽・新庄城

出羽・鶴岡城

上田城の歴史

年代	内容	
1583年（天正11年）	徳川方の城として真田昌幸が上田城を築城	
1585年（天正13年）	第一次上田合戦	
1590年頃	真田昌幸が豊臣方の城として上田城を整備	
1600年（慶長5年）	関ヶ原の合戦	
1601年（慶長6年）	上田城は徳川方によって破却	
1626年（寛永3年）	仙石忠政 上田城を再興	※仙石氏・松平氏の時代を通じて、上田城の石垣等の修復が行われるが、大きく城自体が改変されることはない
1706年（宝永3年）	仙石氏から松平氏に上田城主が交代	

～幕末・明治維新をむかえる～

甲府城



沼田城

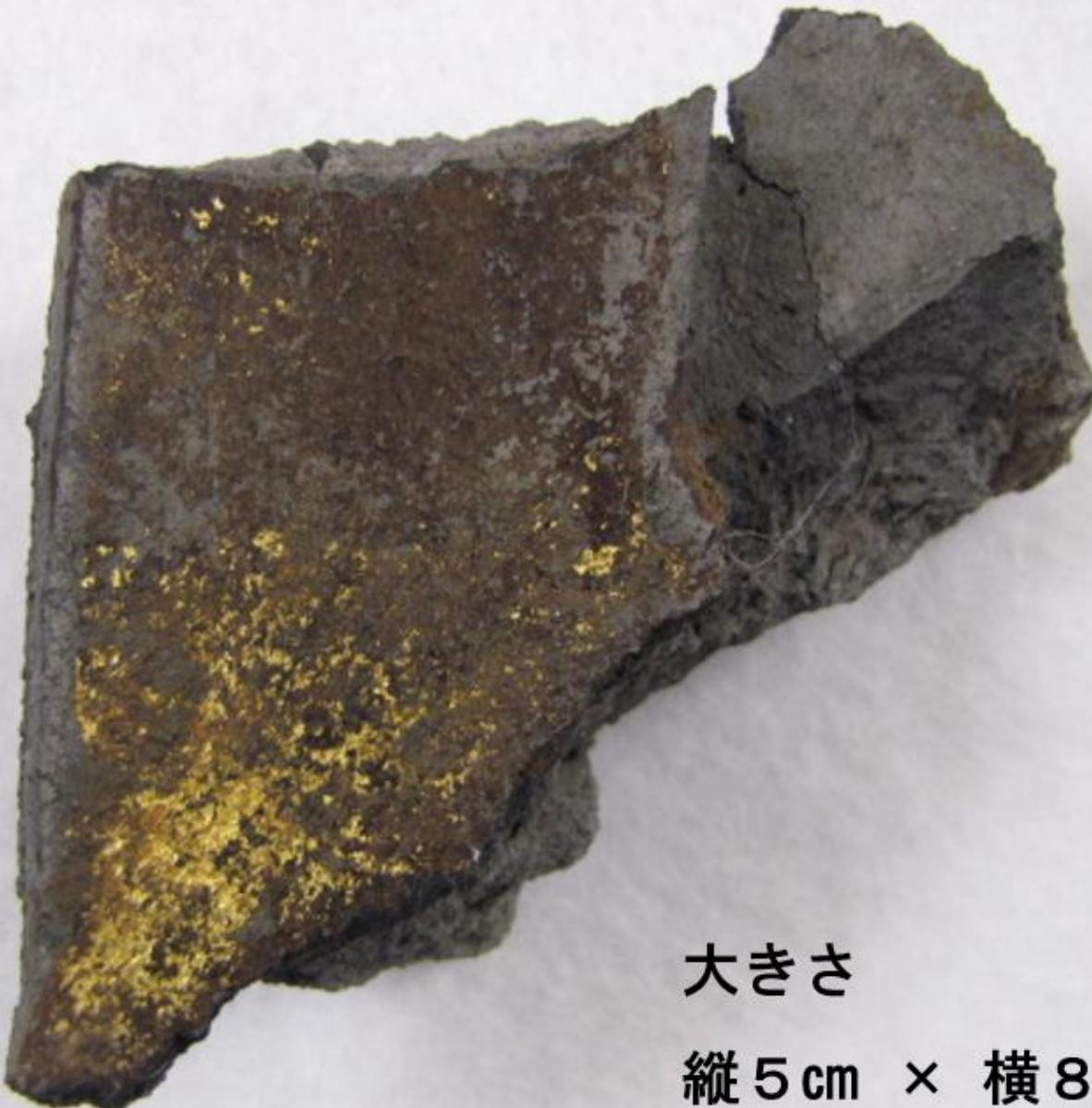


松本城



小諸城 天守台
(文禄期 (1592~96年))





大きさ

縦5cm × 横8cm位

出土した金箔瓦(鬼瓦)破片 表面

〈菊花紋軒丸瓦〉

- ・本丸堀の北西部と南西部から
- ・8弁または9弁の複弁
- ・大坂城、聚洛第、伏見城でも使用



菊花文軒丸瓦 8 複弁

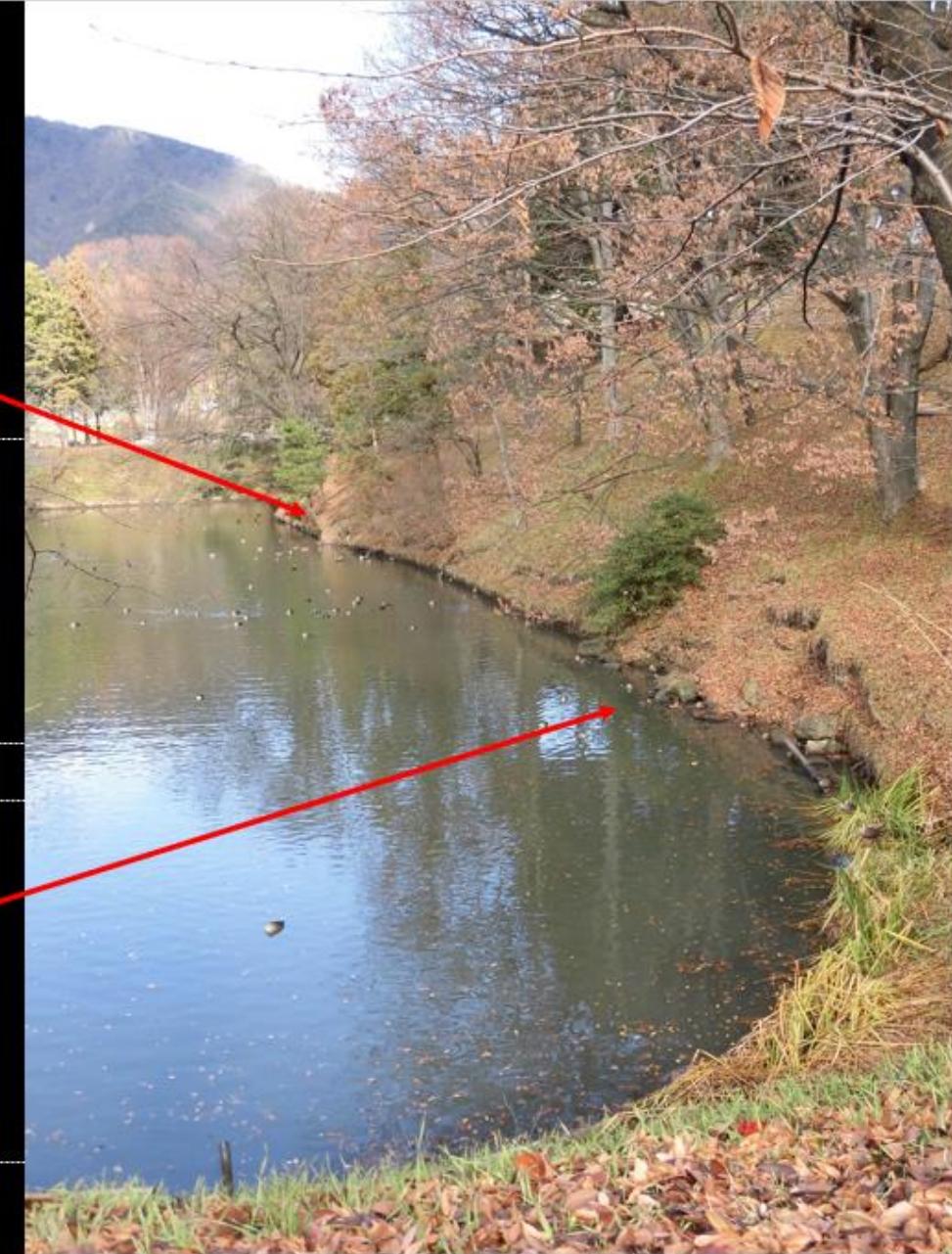


菊花文軒丸瓦 9 複弁



菊花文軒丸瓦 8 複弁

本丸堀出土の真田氏時代の瓦

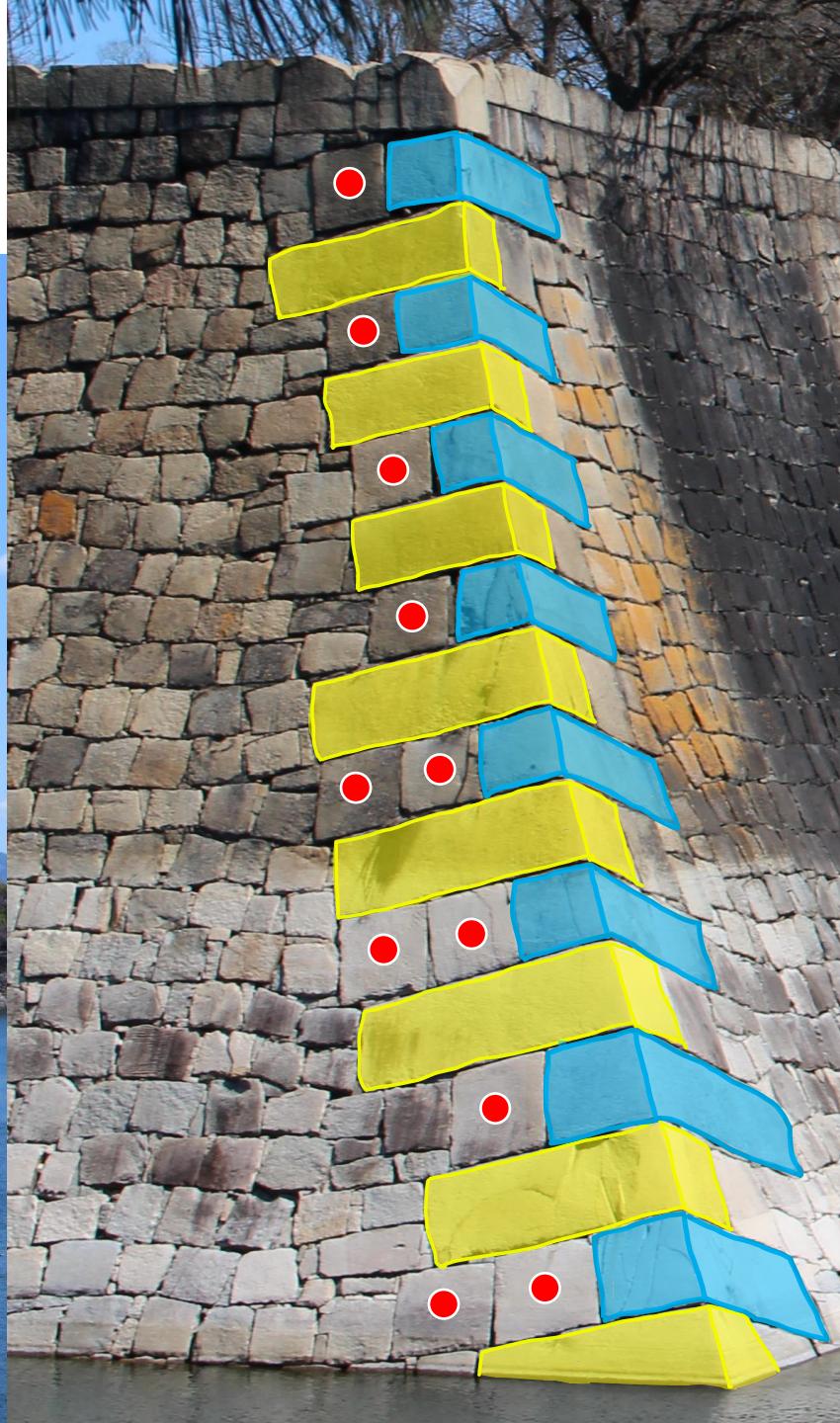
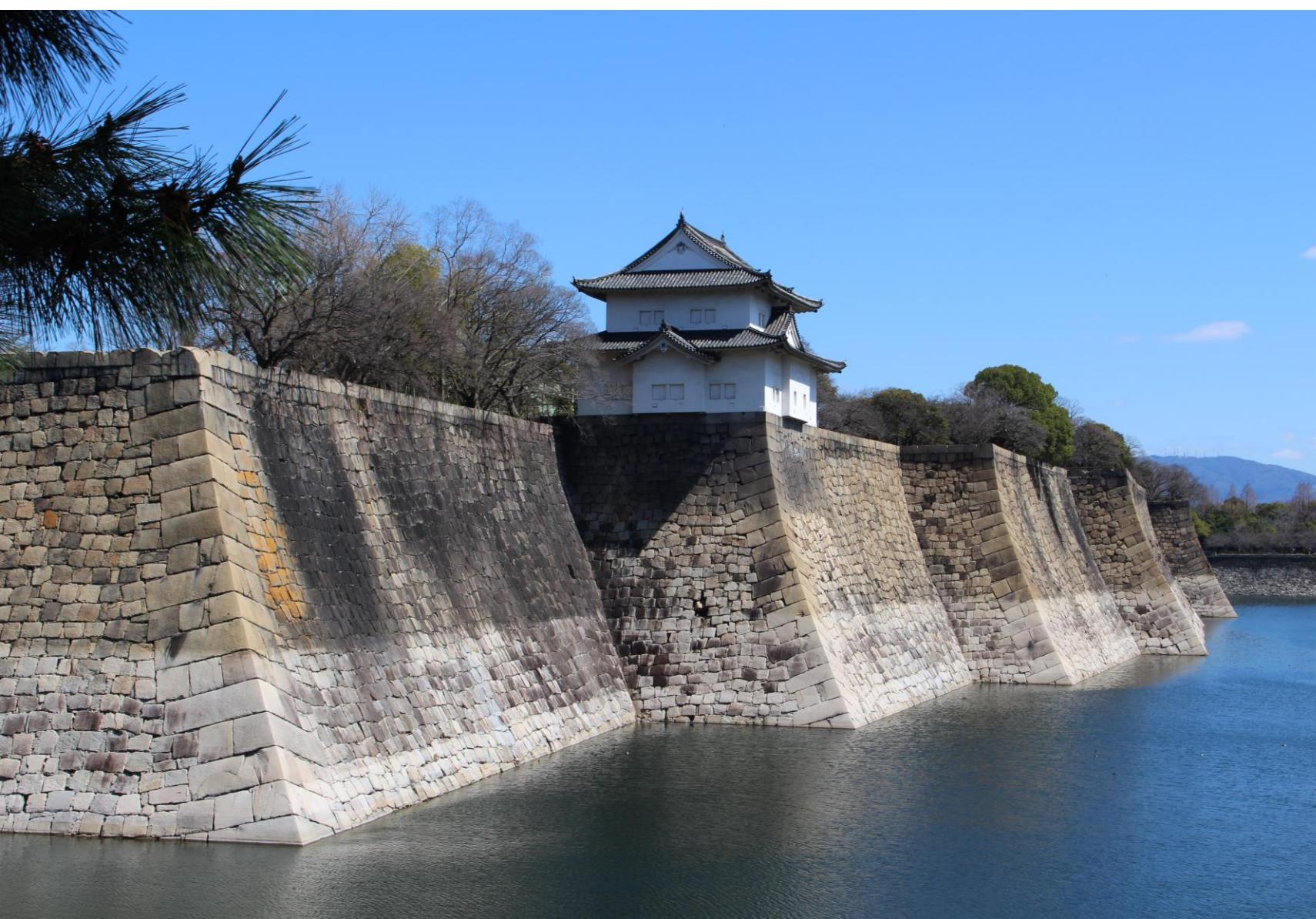


本丸堀で検出された真田氏時代の痕跡

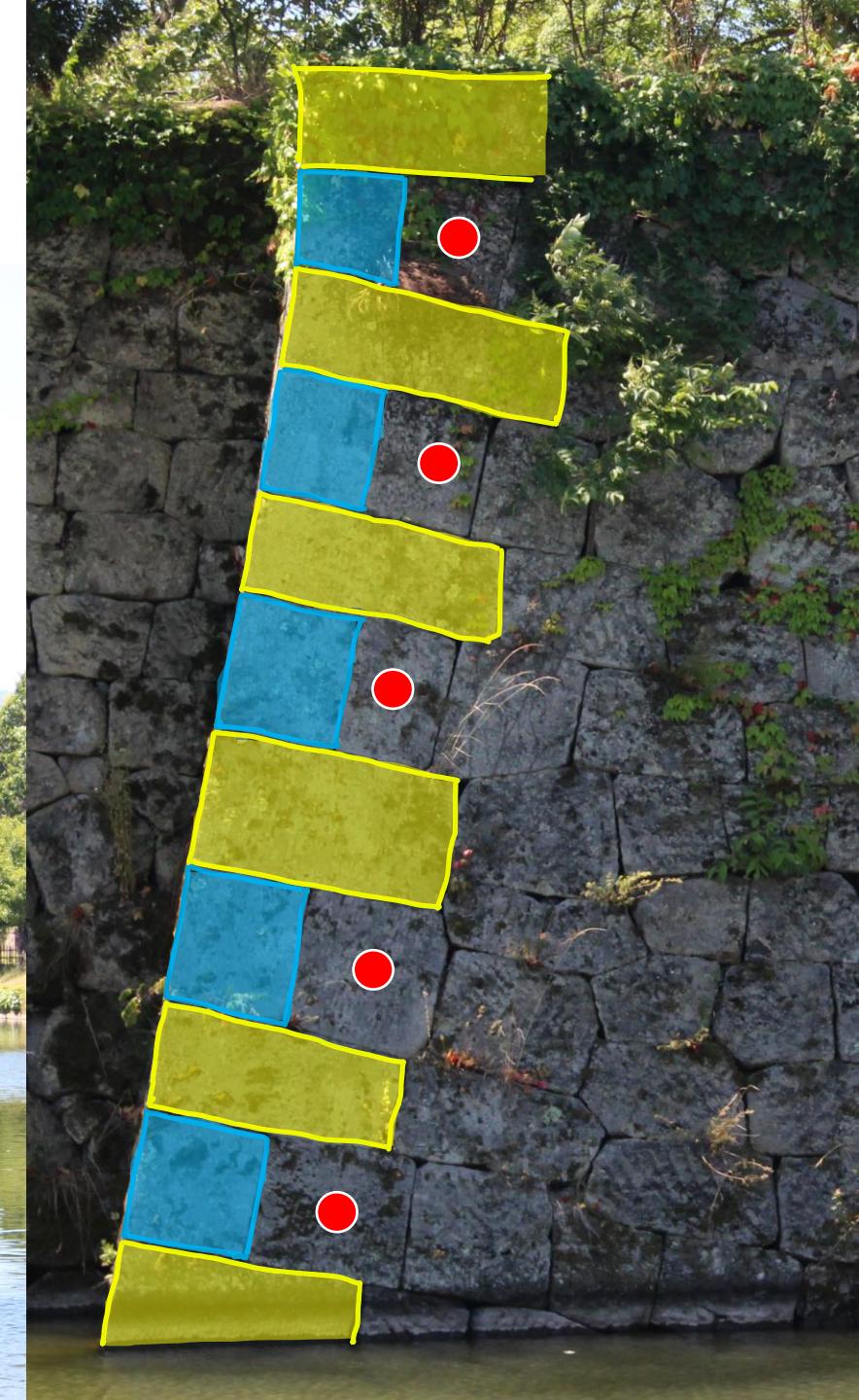


仙石氏時代の上田城
イメージ

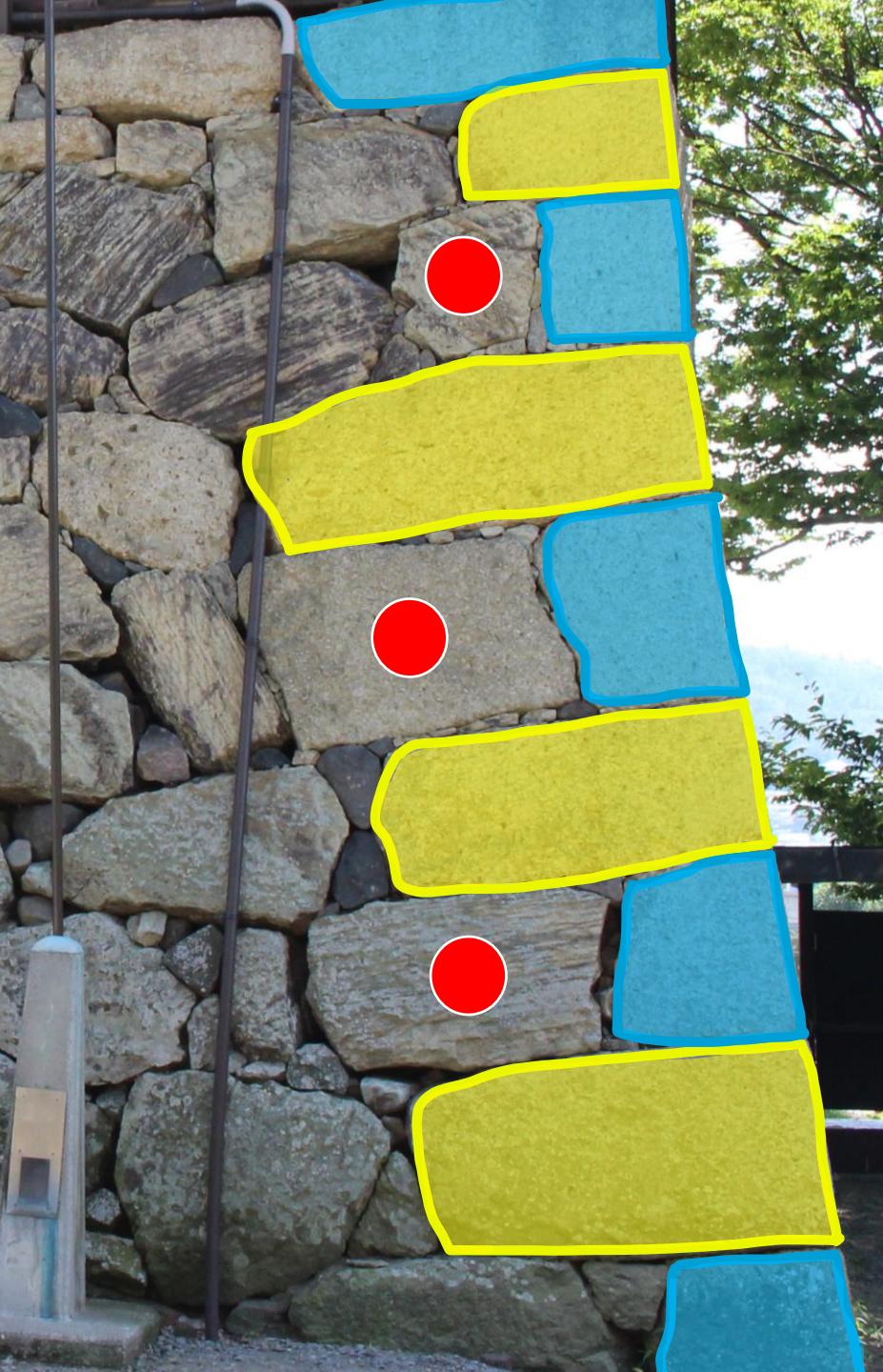
徳川期大坂城 南外堀
(第3期工事：寛永6年 (1629))



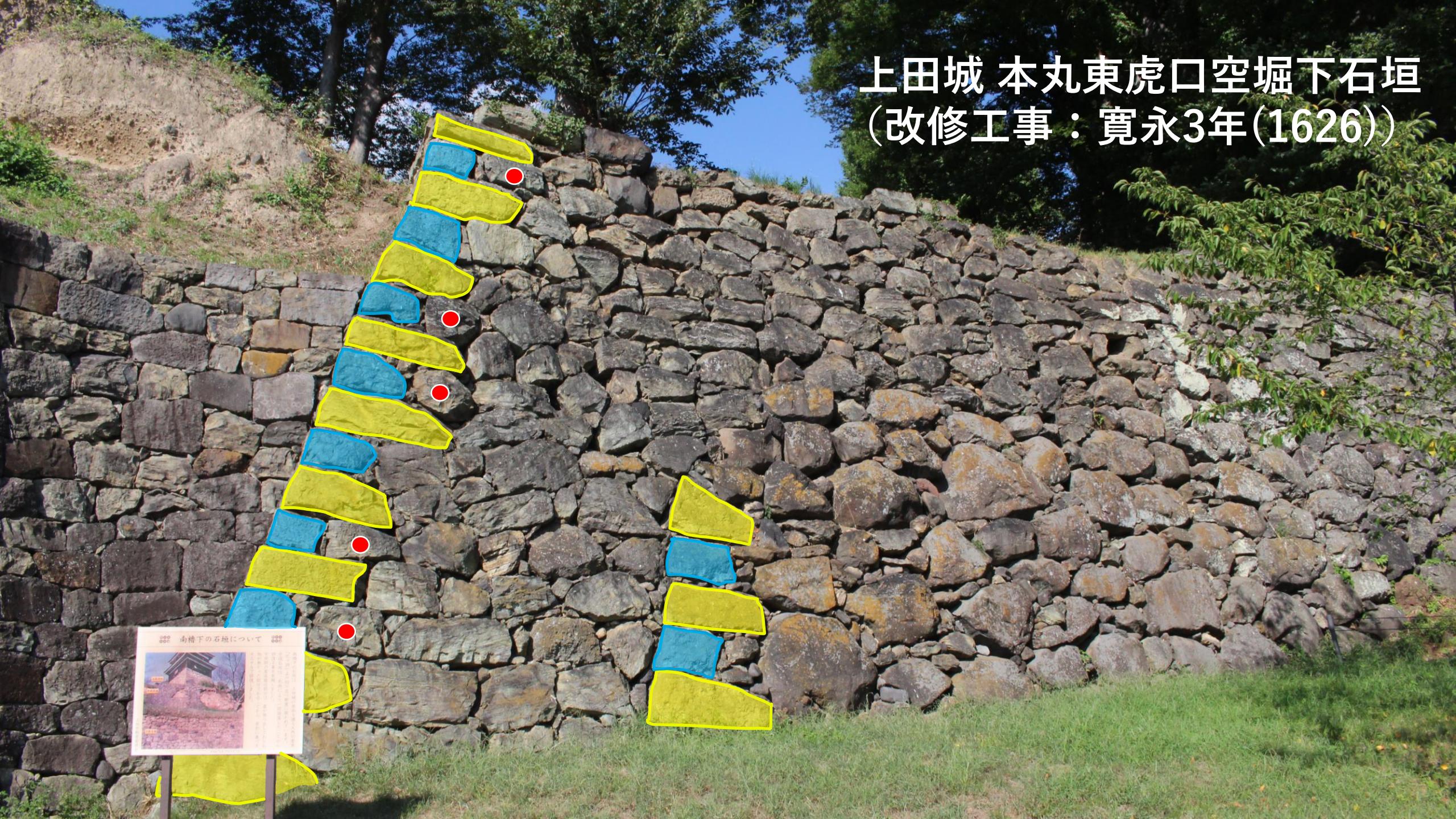
会津若松城 西出丸
(改修工事：寛永16年 (1639))



上田城 西櫓台
(改修工事：寛永3年 (1626))

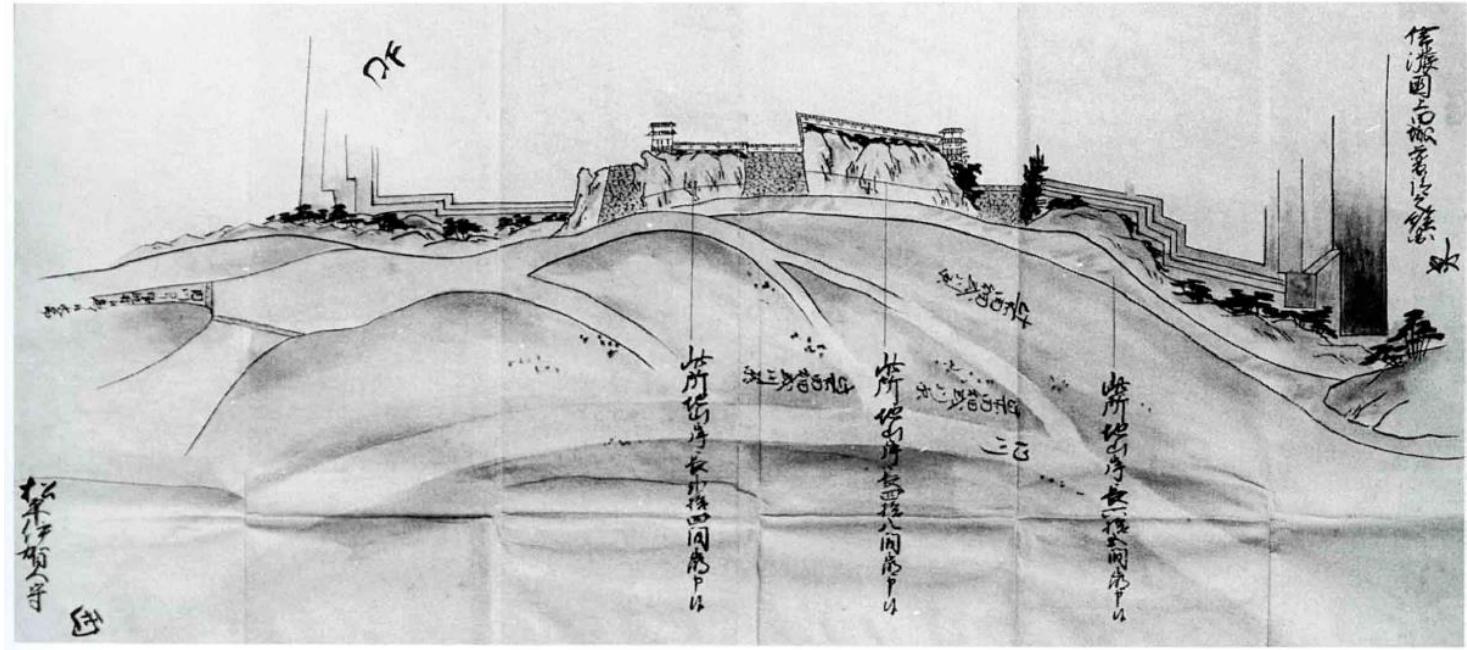
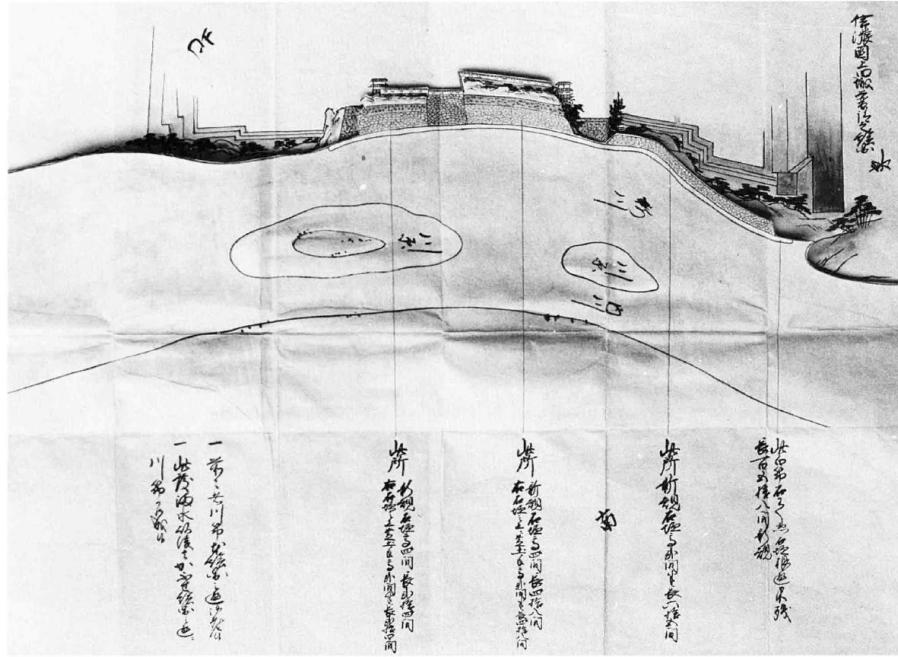


上田城 本丸東虎口空堀下石垣
(改修工事: 寛永3年(1626))





尼ヶ淵の石垣（イメージ）



出典：『定本 上田城』 郷土出版社 220～221p

江戸初期の石垣工事

石切り

石丁場

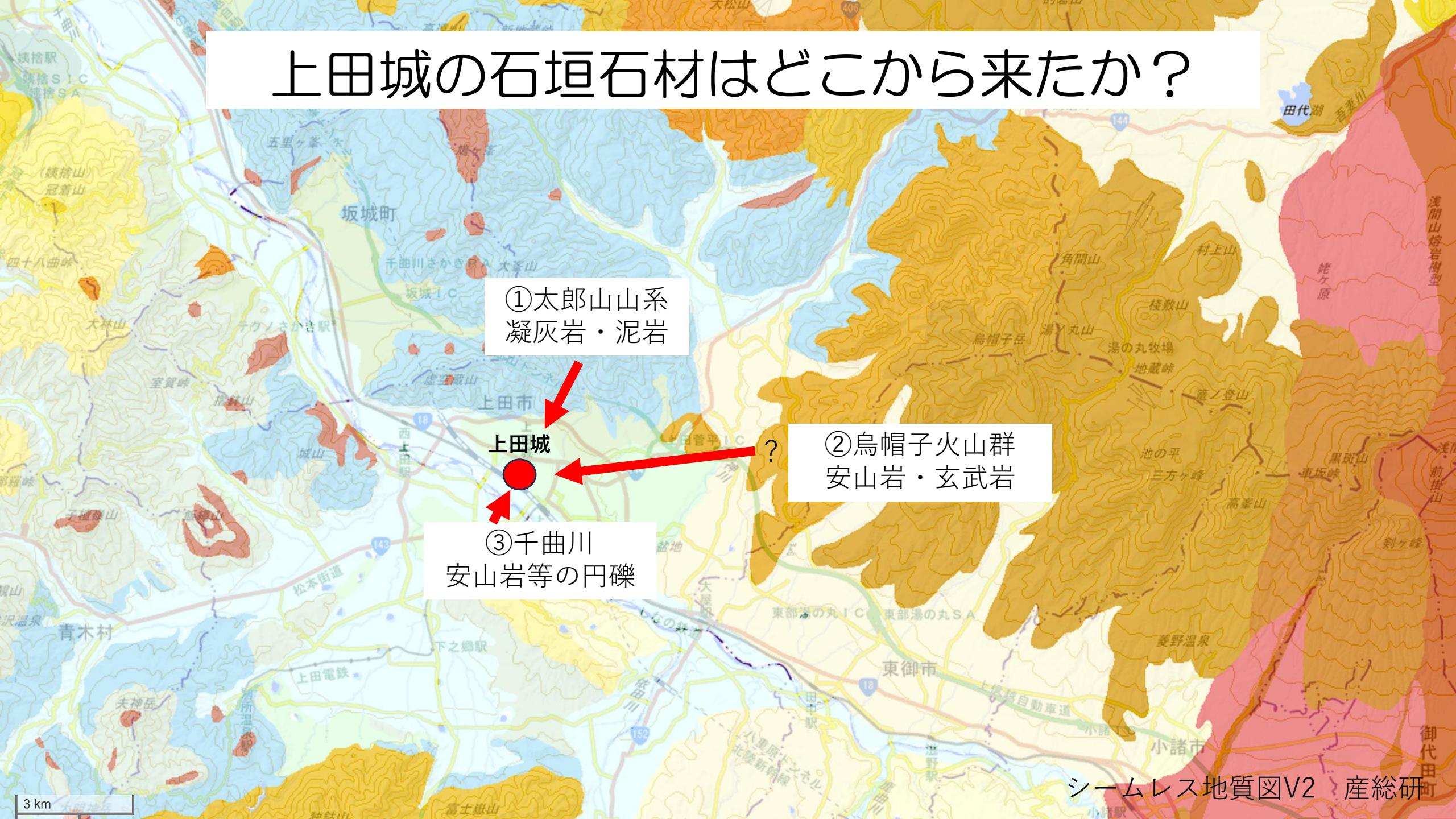
石引き

石引道

石積み

普請丁場

上田城の石垣石材はどこから来たか？





上田城の石丁場 太郎山





矢穴を掘る



小豆島町ワークショップ（2020年2月）

石を切る（矢締め）



実演：藤田精氏

昭和30～40年代の石垣工事

篠山城跡



トロッコ



ウィンチ（巻き上げ機）



ニ又で石を積む

写真：篠山市教委蔵

萩城



天狗岩丁場
(小豆島)



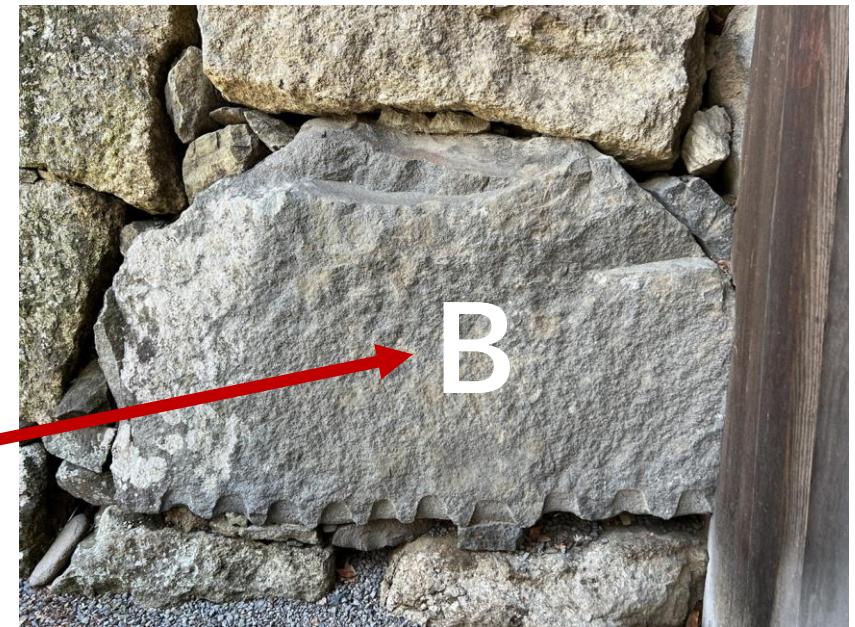
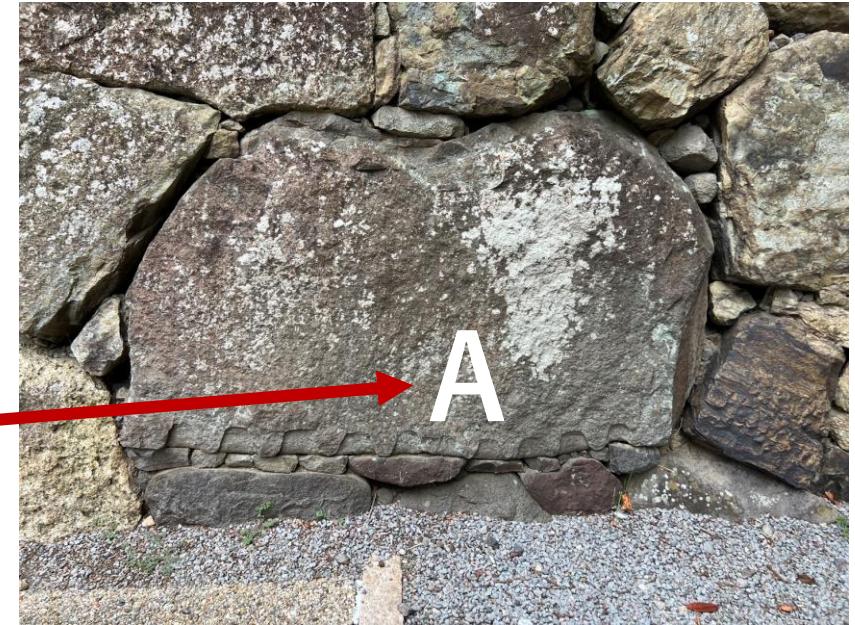
上田城の矢穴痕たち



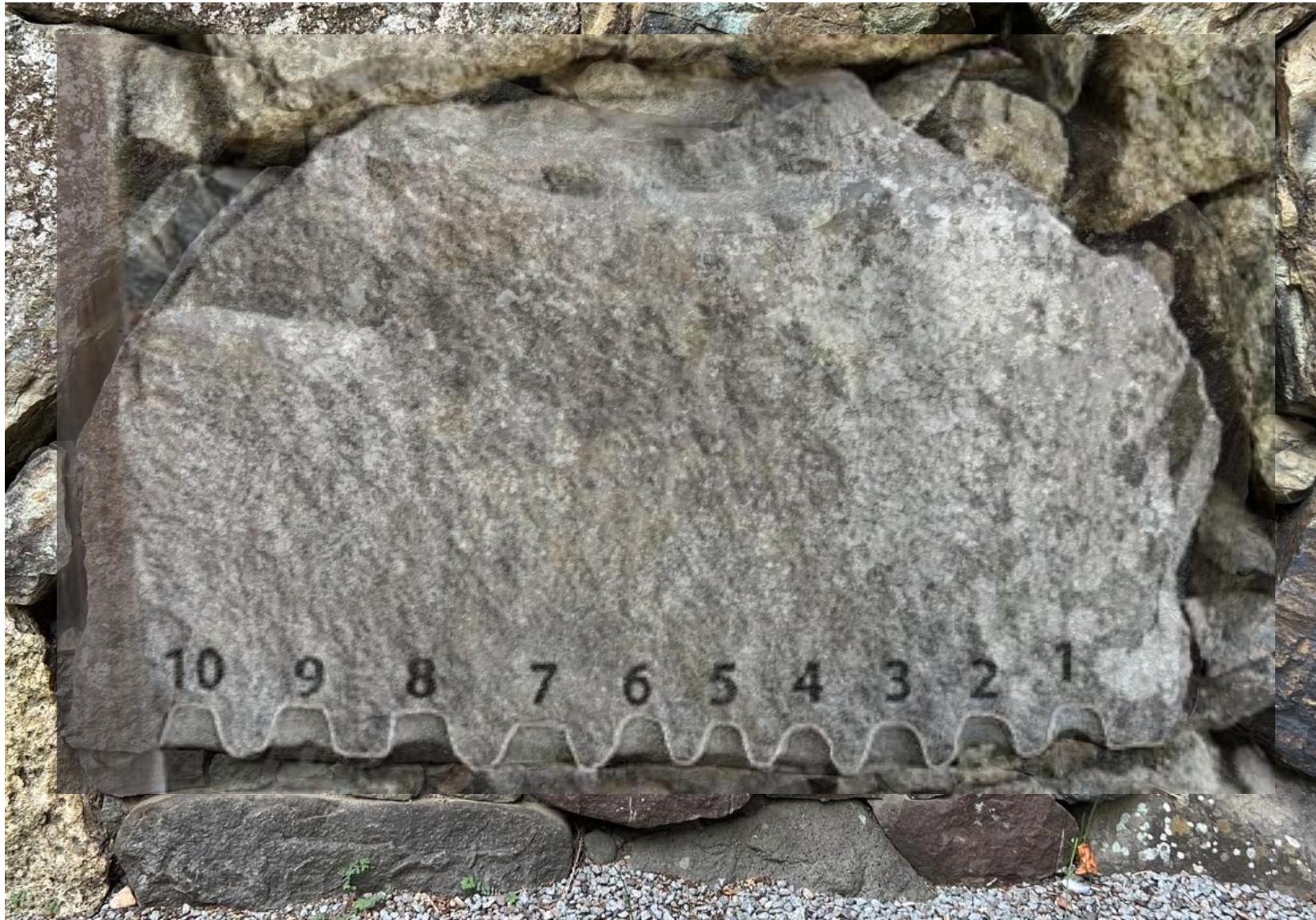
上田城 二の丸東虎口



上田城本丸東門の双子石



Bを反転してAに重ねる



城門に据えられる双子石

大坂城（二ノ丸大手門）、名古屋城（本丸東門）、熊本城（東竹之丸不明門）、盛岡城（二ノ丸）など

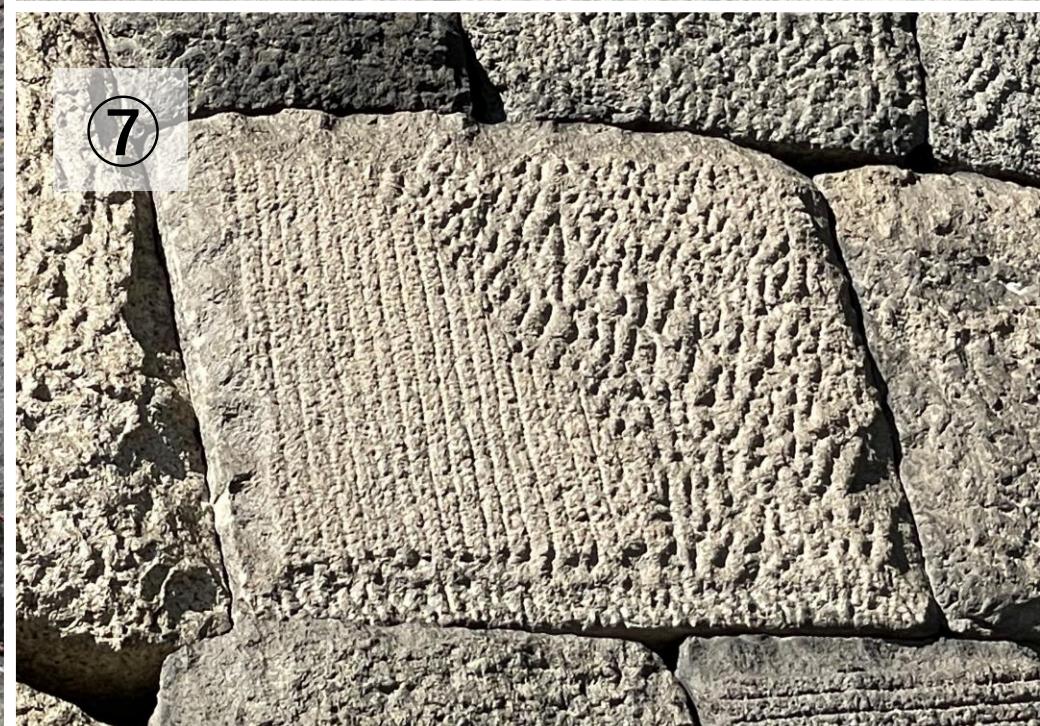
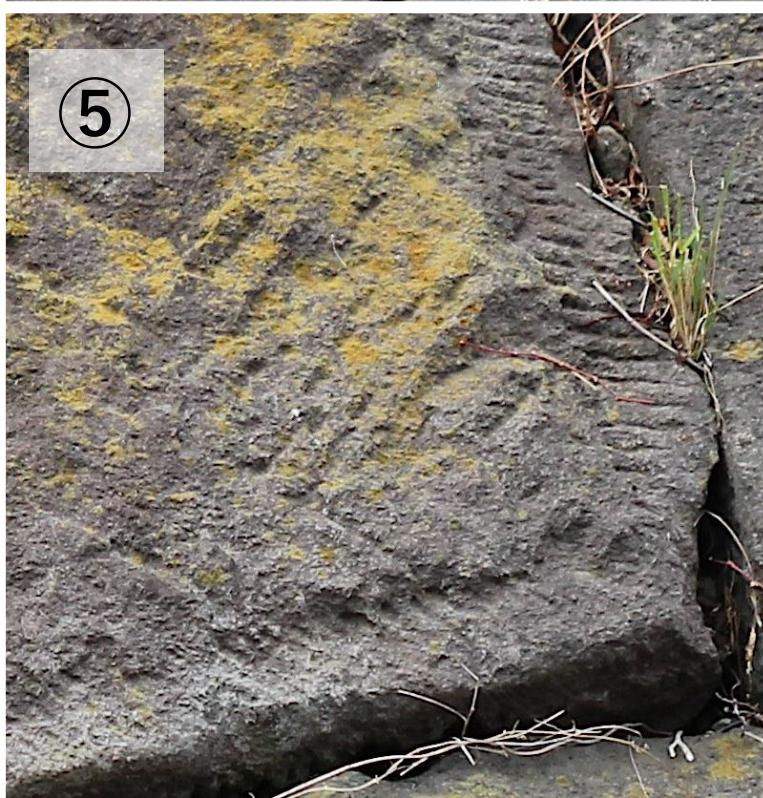


すだれ仕上げ



はつり仕上げ





本丸東虎口の土橋南面



本丸北櫓台



護岸石(松平期)



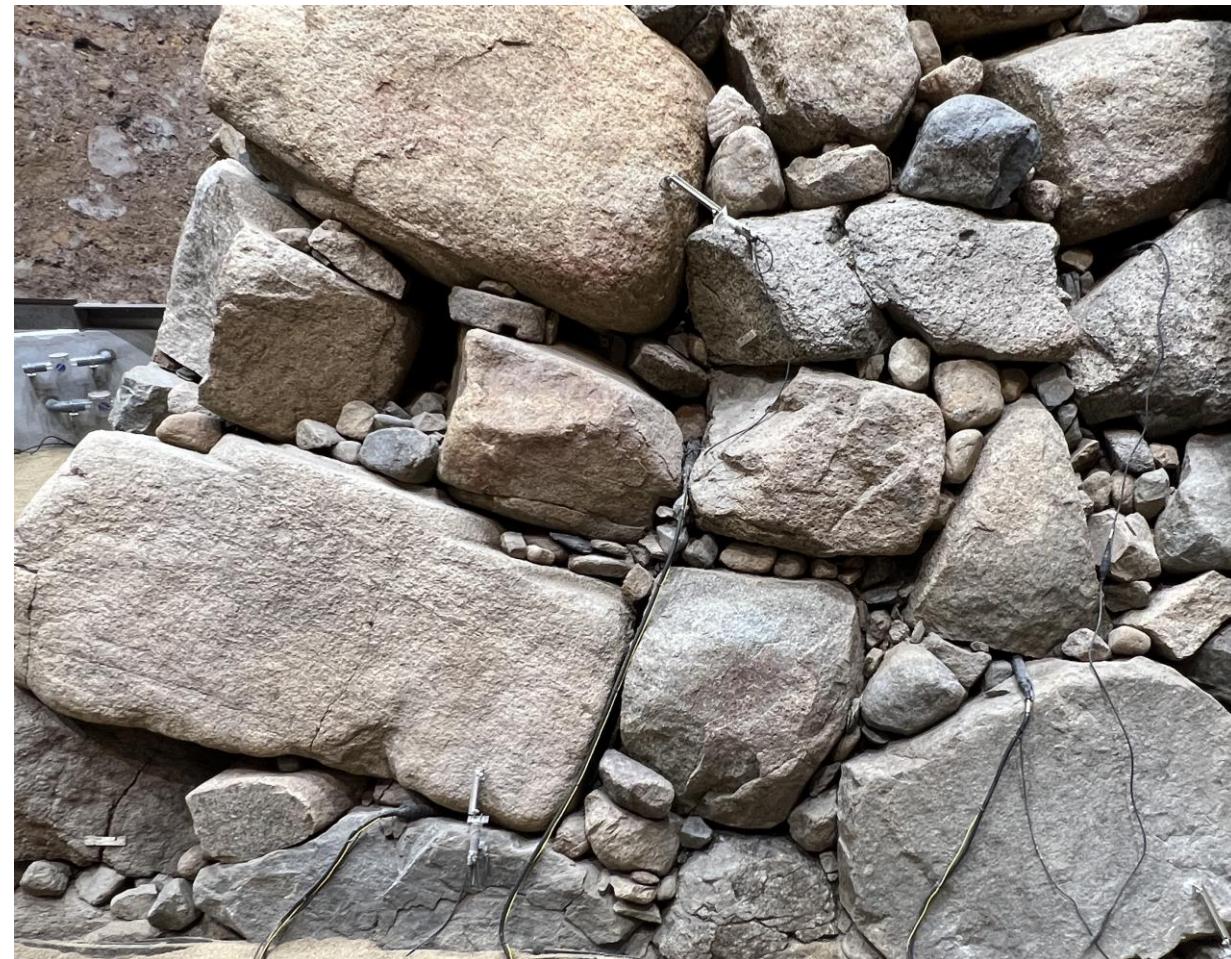
上田城 本丸西虎口
転用石



多数の墓石



古墳石棺、寺院礎石、石臼など



福知山城跡 天守台石垣

豊臣大坂城跡 本丸石垣

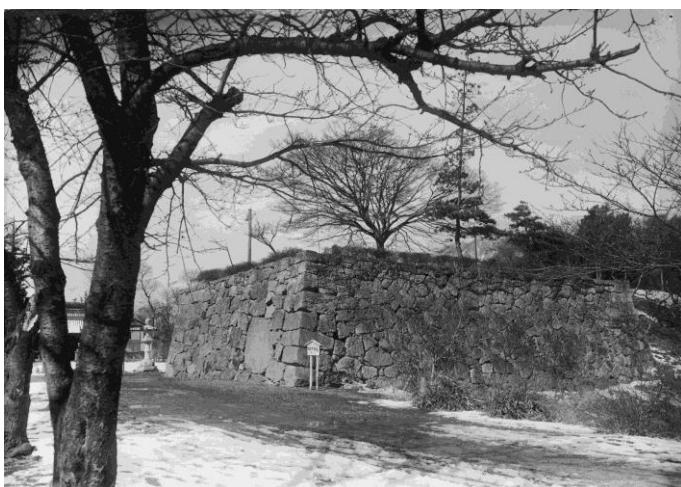
上田城の歴史

年代	内容
1871年（明治4年）	廃藩置県・上田城は国の管轄下に
1874年（明治7年）	国の管轄が終わり、上田城は民間に払い下げに
～西櫓を残して他の櫓等は城内から姿を消す、石垣などの構造物も跡地利用等のなかで取り壊し～	
1880年頃から	城跡に監獄や公会堂ができる、公園としても利活用されていく
1943年（昭和18年）	上田城外に移築されていた2棟の櫓（現在の南櫓と北櫓）を上田城内に買い戻しを目指す
1949年（昭和24年）	上田城外にあった2棟の櫓を移築再建
1990年（平成2年）～	<ul style="list-style-type: none">・上田城跡の発掘調査を開始・二の丸北虎口北側の石垣修復工事
1994年（平成6年）	東虎口櫓門の復元
2025年（令和7年）	旧市民会館の解体工事と武者溜り周辺の復元整備の開始

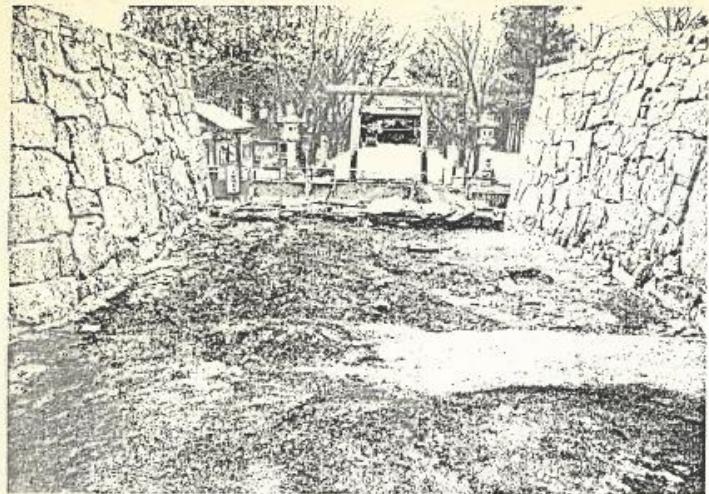


上田城の古写真_明治10年頃_©上田市立博物館蔵

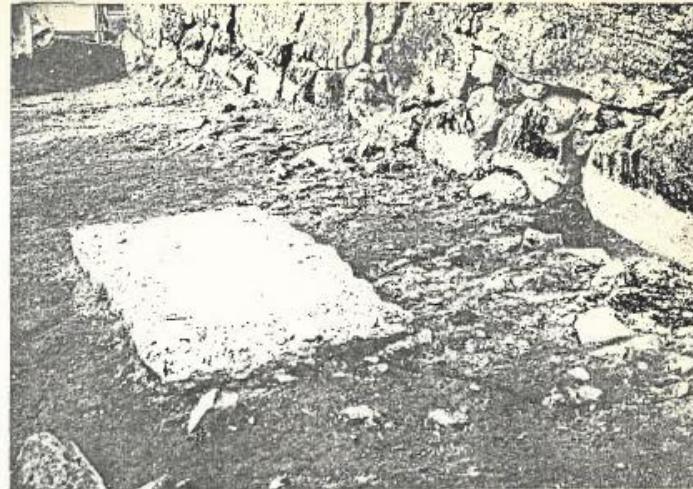
本丸東虎口周辺の石垣写真



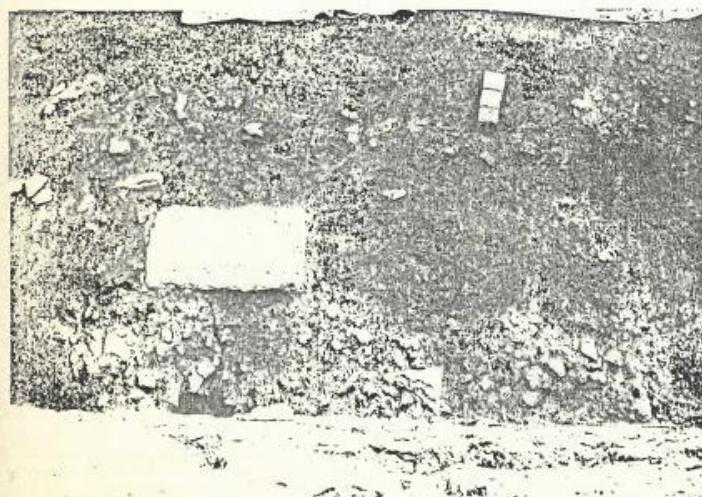
本丸東虎口発掘調査写真



1. 本丸東虎口調査区域全貌（東より）



3. 本丸東虎口櫓門礎石跡（東より）



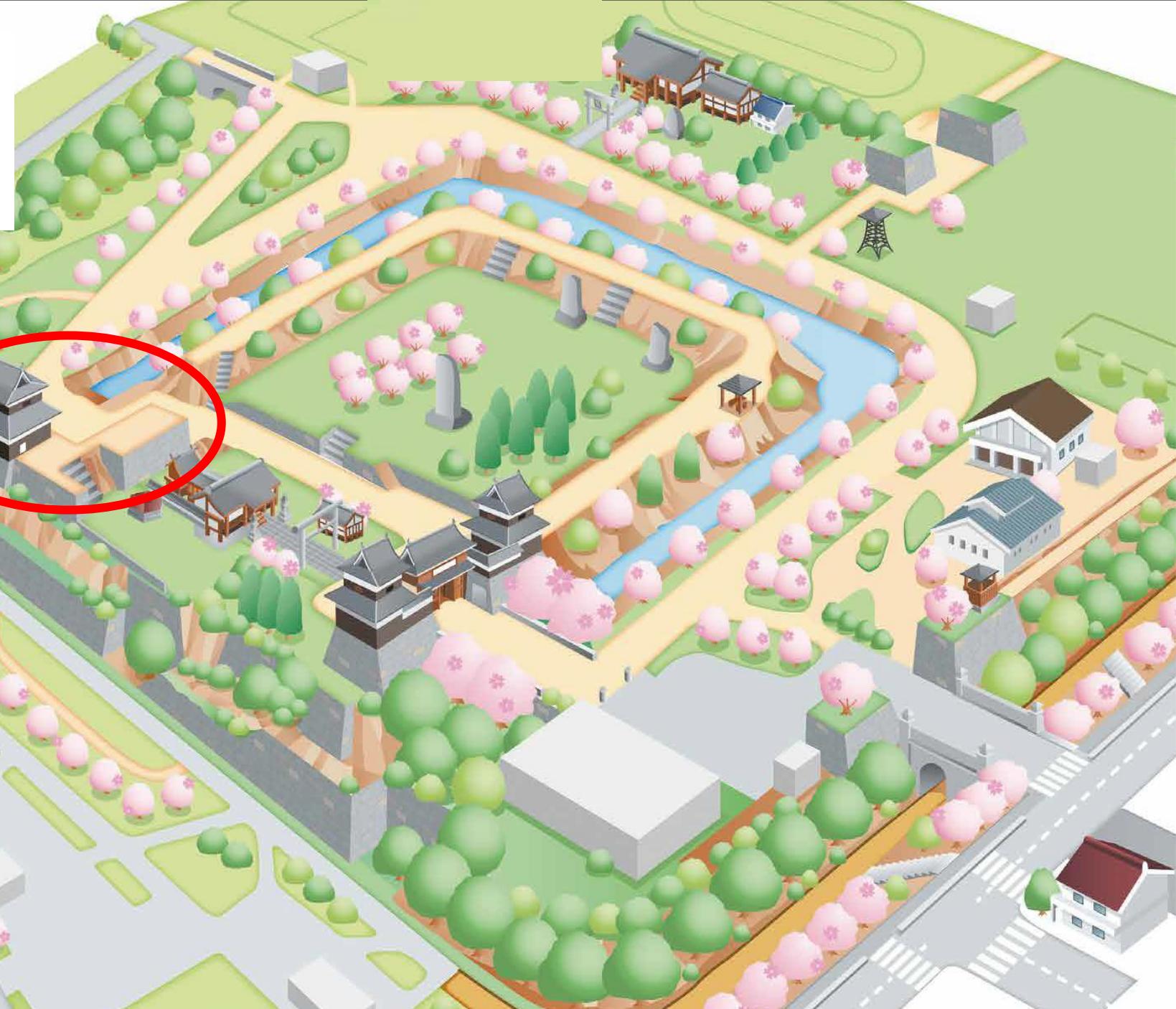
2. 本丸東虎口櫓門礎石跡（上方より）



4. 本丸東虎口櫓門礎石跡半裁状況（南西より）

史跡上田城跡本丸東虎口櫓門復元整備説明資料

上田城西虎口 の復元整備



西櫓近くの石垣

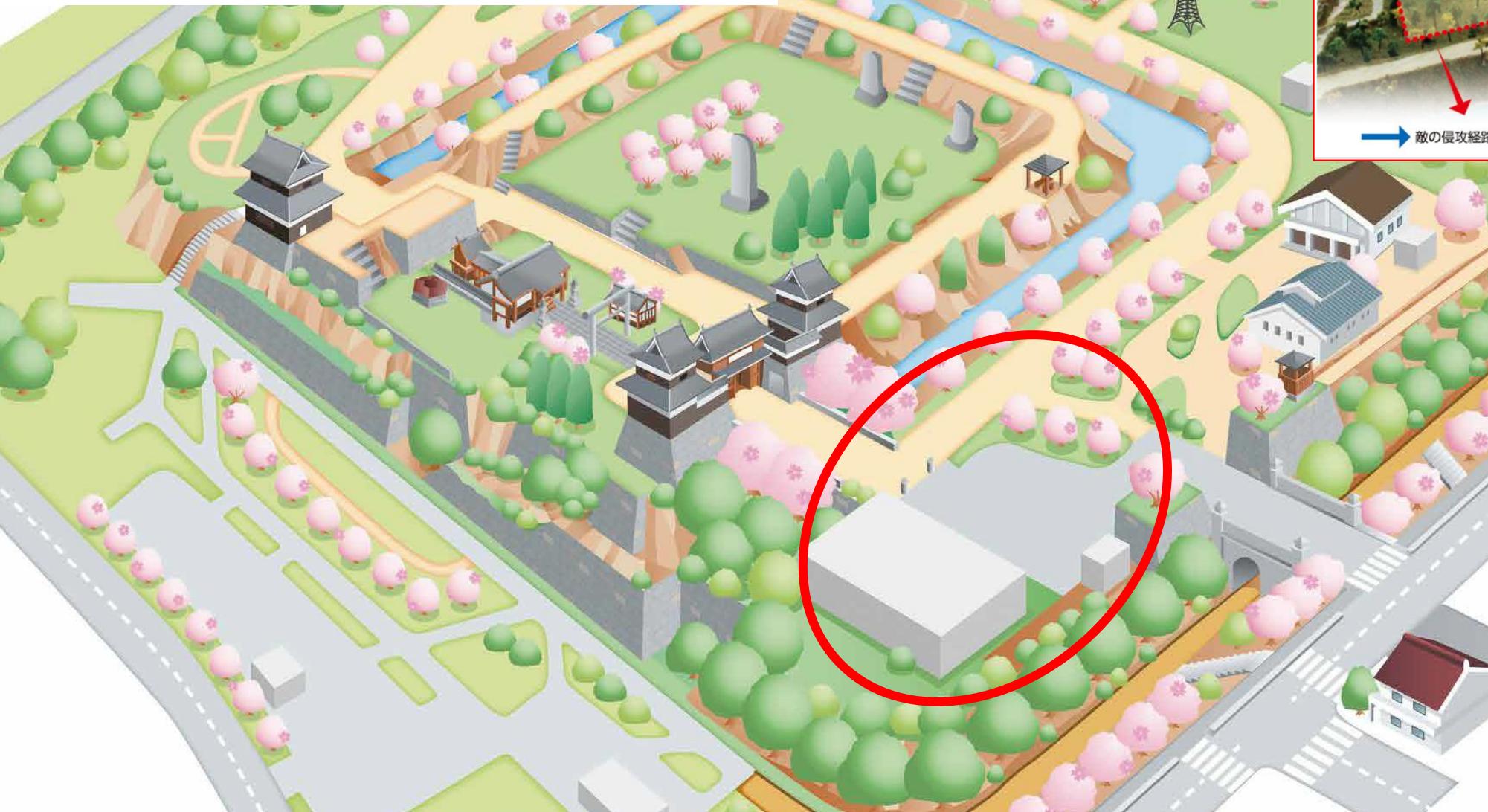


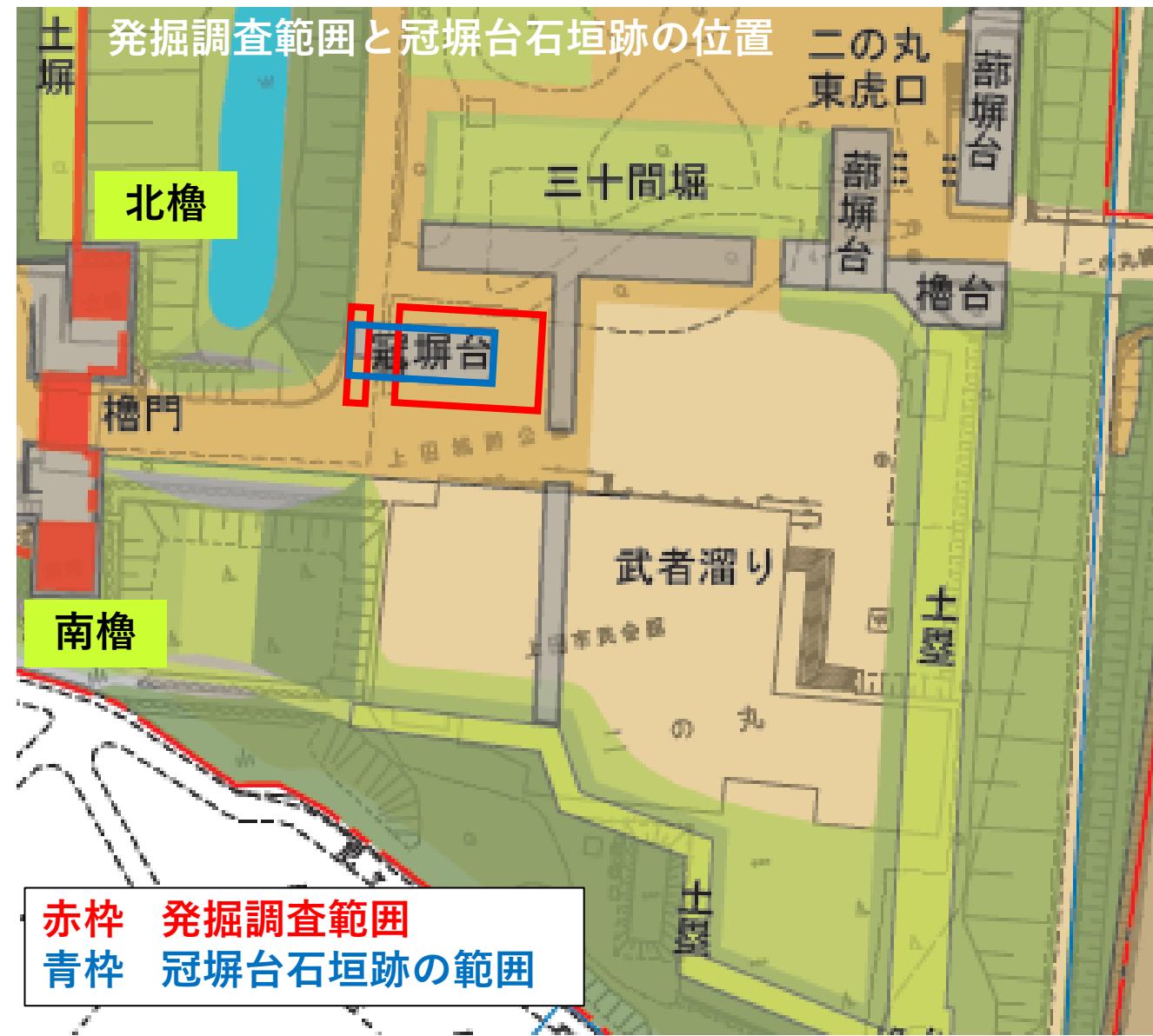


江戸時代の西虎口のイメージ

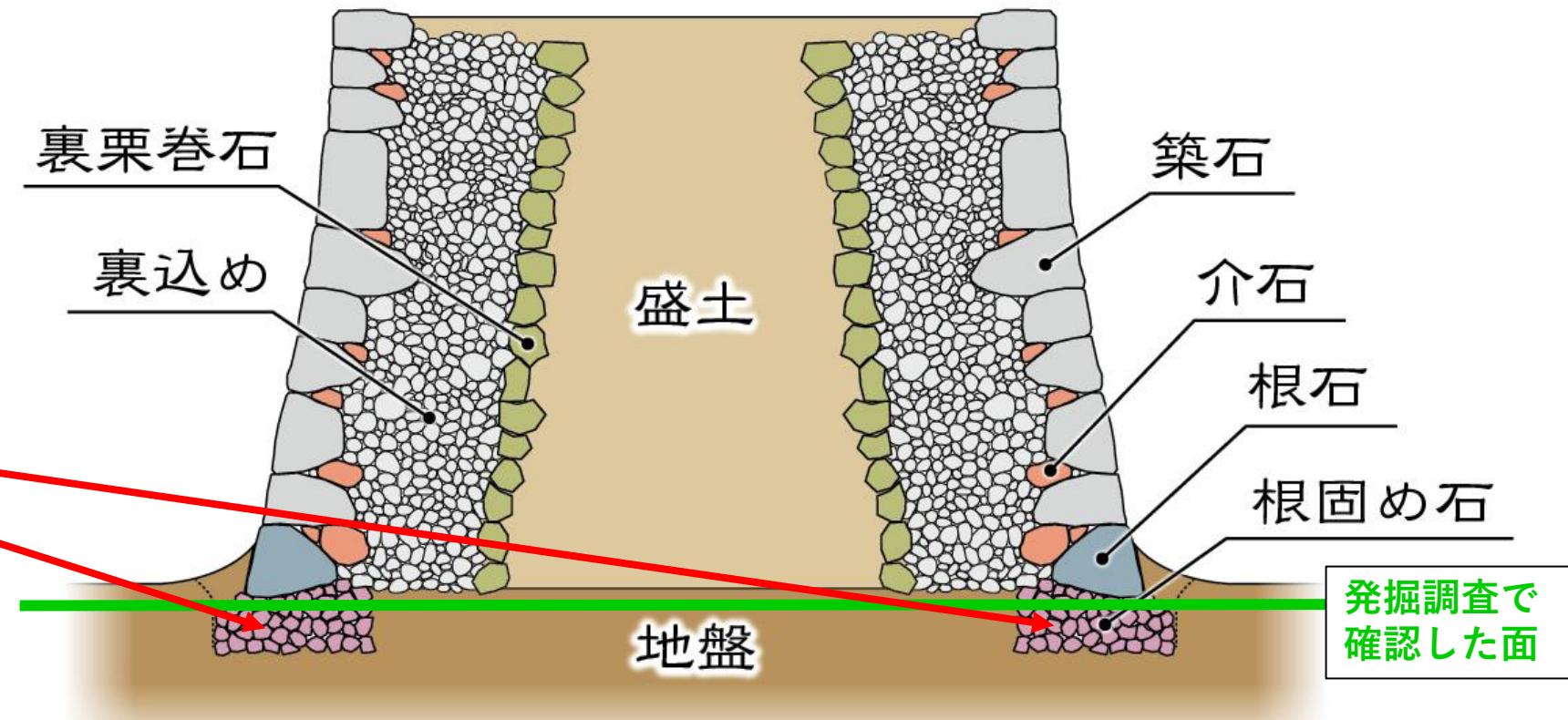


上田城二の丸東虎口 の復元整備





冠堀台石垣の発掘調査で分かったこと①



冠塀台石垣の発掘調査で分かったこと②

